

広島市立北部医療センター安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	超高齢者に対する大腸内視鏡検査に関する検討
研究責任者 (所属科名)	永田信二 消化器内科 主任部長/院長
本研究の目的・意義	2025年の日本の高齢化率(65歳以上)は29.4%に達し、一貫して上昇しており、診察医療圏の高齢化に伴い、当院においても超高齢者に対する大腸内視鏡検査(CS)も増加しています。 【目的】超高齢者に対する大腸内視鏡検査の安全性、妥当性を明らかにすることです。 【対象と方法】2014年4月から2025年4月までに当院で90歳以上の高齢者に大腸内視鏡検査を施行した564例を対象とし、進行癌発見率、浸潤癌や高度異型腺腫の発見率、偶発症発生率を明らかにします。検査理由の内訳、全大腸観察率、鎮静・前処置の実態、進行癌症例の治療内容および転帰、予後関連因子を検討します。患者全身状態の評価尺度として、Body Mass Index(BMI)、Prognostic Nutritional Index(PNI)を評価し、予後予測因子としての有用性を後方視的に検討します。
調査方法・研究期間	後ろ向き観察研究 データ収集期間:2014年4月から2025年4月 研究期間:2027年12月までを予定しています。
該当資料・データ	★対象となる患者様 上記期間の間に当院で大腸内視鏡検査を施行した90歳以上の高齢者の患者様(564例) ★利用する情報 電子カルテに記載のある以下の診療記録、検査データ等を利用します。 患者様背景、短期治療成績・長期予後等
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
共同研究機関	当院単独で行う臨床研究ですが、治療後より経過の追えない患者様に関してかかりつけ医に問い合わせを行う場合がございます。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

お問い合わせ先	広島市立北部医療センター安佐市民病院 研究担当者:消化器内科部長 朝山 直樹、同医師 進藤 源太郎 電話:082-815-5211
備考	